

学位論文審査の結果の要旨

氏名	MOHD. NAZRUL ISLAM
審査委員	主査 谷口 憲治 (印)
	副査 石田 章 (印)
	副査 能美 誠 (印)
	副査 糸原 義人 (印)
	副査 松田 敏信 (印)
題目	Market Reform and Farm Level Inorganic Fertilizers Use in Bangladesh
審査結果の要旨 (2,000字以内)	
<p>バングラデシュでは、種々の肥料が使用されているが、その中で、第一位は尿素、第二位はリン(TSP)、第三位はカリ(MP)で、その国の年間総肥料消費量の平均90%以上となっており、肥料に関する政策の中心は、ほぼこれらの肥料となっている。まず、これらの肥料は、多く補助金が与えられている。それへのしかも非効率的な補助金支給による予算制約のために、関係機関は、補助金を次第に減らし、バングラデシュにおけるその市場の民営化を促進するよう助言した。結果として、一連の民営化と規制緩和政策は、1978年以來の構造調整政策(SAP)として知られており農業投入市場において実行され、1992年に終了した。しかし、多くの先行研究は、肥料消費総量について行い、バングラデシュ農業生産性に肥料市場改革を引き起こしたことを明らかにした。バングラデシュでは、その国で消費される主要な三つの肥料をめぐる議論において見誤らせ、一連の構造調整政策のために破壊された時代において議論は解決しなかった。肥料市場改革で提案された基本的な政策方法は、肥料価格補助金にかわって生産価格支持計画である。しかし、この政策の有効性は、定着しなかった。バングラデシュの市場自由化後、尿素の使用は劇的に増加し、他方、リンとカリの使用は、極端に減少した。結果として、リンとカリの需要の減少は、バングラデシュにおいて時事問題となり、勢いを得た。</p> <p>以上の背景から、本研究は、構造調整政策の影響により化学肥料に起こりうる破壊の時代および肥料市場におけるその影響について調査研究することを主に企図した。つまり、国家レベルでの化学肥料の動態的局面、肥料需要に関する生産価格支持政策の効果、さらに、農家レベルでの尿素、リン、カリ肥料使用の研究、農家レベルでのこれらの肥料使用の決定要素を注意深く評価し、この国での緑マメ生産の効率性の計測を行った。それで明らかになったことは、バングラデシュで使用される化学肥料のために正しい政策を作成する研究者および政策作成者に支援するであろう。</p> <p>この研究の知見は、1987-88年に発生した構造調整政策のために起こった肥料消費の破壊の時代を明確に指摘した。肥料市場改革は、尿素よりむしろ他の肥料のために逆に生産的となった。尿素を除いてリンとカリの消費と価格の不安定性は、市場改革後増加した。リンとカリの取引のための個別分野の関係は、結局、輸入または頂点のレベルで寡占またはカルテルの構造に転化し、結果としてこれらの肥料価格は、市場改革後に急激に上昇した。これら以外に、投入価格補助金の代わりに生産価格支持計画は、国内の化学肥料を消費するために何らかの重要な役割を果たすことが出来なかった。さらに、この</p>	

作物生産の価格支持計画を通してよりも、その価格を下落させることを通じてリンとカリの使用を増大させることに効果的であることを明らかにした。それは、農家レベルの分析からも農家が過剰な尿素を使用していたことが、明らかになった。つまり、奨励された一回当たりのリンやカリの量がより少なかったことと尿素は農家レベルで緑豆の生産を制限していたのである。農家における種々な形態の肥料需要分析の結果は、農家のリンやカリの使用が、それらの価格を下げ、尿素価格を引き上げることを同様に行うことによって増大することが出来るということを示した。それとともに、肥料使用バランスに関する広大な計画は、農家レベルでこれら二つの肥料の使用増大を可能にし、過剰な尿素使用傾向の減少を可能にした。

それゆえ、リンとカリは、尿素と比べて比較的価格安にすべきである。たとえ、いくらかの範囲で可能な輸入補助金が与えられるか、または商人に販売するより（尿素のように）政府代理機関により全ての多くの肥料を輸入出来たとしても、さらに、また、輸入または頂点のレベルで競争を保障するために、注意深くその構造を設計したとしてもである。尿素の価格形成、生産、調達そして流通は、公的分野で調整され、バングラデシュ政府は、尿素の価格を引き上げ、特別の利益を得ることが出来る。そして、尿素で得たこの特別な利益は、輸入または小売段階のリンとカリの価格補助金として提供すべきである。

以上のように、本論文は、バングラデシュにおける肥料市場改革による影響をこれまで総肥料量の変化としか見ていなかったものを主とする3つの肥料使用についてみることにより国民経済、農家経済に生じている問題点を明らかにするとともに経済対策について分析したもので、大変高く評価でき、学位論文として十分価値があるものと判断した。